

2月定例会の常任委員会における審査の主な内容

総務委員会

行政サテライト機能再編成に係る事業費など、平成29年度一般会計予算(総務委員会所管部分)を可決

総務費に計上された行政サテライト機能再編成整備費について、5年後に新庁舎の建設が予定されているにもかかわらず、中央の地域センター及び総合事務所を設置するため、現庁舎を改修することの是非についてたえずなど、慎重に審査しました。

その結果、行政サテライト機能再編成の全体的な考え方は理解するが、解体予定の現庁舎への設備投資については、市民の理解を得ることが難しいとの理由により、行政サテライト機能再編成整備費のうち、中央の地域センター及び中央総合事務所の設置に係る改修費用を減額する修正案が提出されました。

一方、修正案に反対、原案に賛成の立場から、現庁舎の整備については、市民の理解や新庁舎建設の取り組みの現状を考え、整備にかかる費用を抑えるよう努めてほしいなどの要望を付した意見が出され、採決の結果、修正案については賛成少数で否決され、原案については賛成多数で可決しました。

教育厚生委員会

恐竜の化石を活用するための事業費など、平成29年度一般会計予算(教育厚生委員会所管部分)を可決

教育費において、福井県立恐竜博物館と共同で化石の発掘調査を行い、地層などを地学の新しい学習資源とするための恐竜化石等研究調査費及び恐竜博物館建設に向けた検討のための地層調査などの現況把握や、事業実施のための課題を抽出し、恐竜博物館のあるべき姿や機能、施設の構成などをまとめた基本構想を策定するための恐竜博物館基本構想策定費が計上されました。

委員会では、研究機関として必須となる学芸員の配置の考え方、発掘調査場所の価値と、今後の整備検討を進めるための公有化の考え方、調査研究や博物館建設に対する県の費用負担の有無についてたえずなど、慎重に審査しました。

その結果、恐竜博物館の建設に向け、学芸員の配置を早急に決定してほしい、また、学術研究のみならず、地域の活性化につながるよう取り組んでほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

環境経済委員会

交流拠点施設の事業者選定の事業費など、平成29年度一般会計予算(環境経済委員会所管部分)を可決

商工費において、交流拠点施設の事業者の公募・選定を進めるための受注者選定審査会費が計上されました。

委員会では、長崎市の重要な施策であるにもかかわらず、民間に提案を求め、審査を審査会に任せ、市民や議会が参加できない仕組みとしたことの妥当性や、受注者選定審査会による審査過程の透明性が確保される見通しについてたえずなど、慎重に審査しました。

その結果、教育や子育て、福祉などに予算を使うべきであると考えるところから交流拠点施設の整備には反対であるとの反対意見が出されました。

一方、交流拠点施設の事業者の決定過程の透明性を確保してほしい、交流の産業化では、定住人口を交流人口で補うだけでなく、所得向上や雇用拡大により定住人口の増加につなげるとともに、これまでにない創意工夫した取り組みにより地域経済の衰退に歯止めをかけるよう努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

建設水道委員会

稲佐山公園のスロープカー整備に係る事業費など、平成29年度一般会計予算(建設水道委員会所管部分)を可決

土木費において、稲佐山山頂展望台へのアクセスを向上させ、団体観光客等の利便性の向上を図るため、稲佐山公園のスロープカー整備などを行うための公園施設整備事業費が計上されました。

委員会では、維持管理等の費用の見込み、(仮称)中腹駅のトイレの設置及び公園内の既存のトイレをウォッシュレットに改修する考えについてたえずなど、慎重に審査しました。

その結果、稲佐山公園のスロープカー整備については、新たな夜景観光の資源として迅速に進めるとともに、市民や観光客のニーズにあったトイレや公園などの整備もあわせて進めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



▲稲佐山中腹のスロープカー駅舎イメージ